



株主の皆様へ

第157期

年度報告書

2020年4月 1 日から

2021年3月31日まで

証券コード4613



関西ペイント株式会社

私たちは、塗料事業で培った技術と人財を最大限に活かした 製品・サービスを通じて、人と社会の発展を支えます。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

また、このたび新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた皆様に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、罹患された皆様と、そのご家族及び関係者の皆様方に、心よりお見舞い申し上げます。

当社では、世界的な感染症の蔓延という困難な状況において、従業員とご家族の健康と安全を確保すること、及び、株主様を始め、お取引先様を含むすべてのステークホルダーの方々に、ご迷惑をおかけしないことを大前提として、この1年、事業活動に邁進してまいりました。

当社グループの当連結会計年度における売上高は3,646億20百万円(前期比10.4%減)となりました。売上

高の減少の影響を受ける一方で、原材料価格の下落や販売費及び一般管理費の削減の取り組みにより、営業利益は312億28百万円(前期比0.9%減)となりました。経常利益は持分法投資利益が増加したことなどにより、358億80百万円(前期比2.9%増)となりました。また、政策保有株縮減に伴う投資有価証券売却益が増加した一方、インドネシアにおいて火災に

代表取締役社長

毛利訓士

よる損失を計上したほか、中国及びマレーシアにおいて有形固定資産及び無形固定資産の減損損失を計上したことなどにより、親会社株主に帰属する当期純利益は200億27百万円(前期比8.4%増)となりました。

以上の業績から当事業年度の期末配当金につきましては、1株につき15円(中間配当金を含め30円)とさせていただきます。

さて、当社は昨年11月16日、「成長戦略 –Good to Great」を公表いたしました。この成長戦略は、創業の精神に立ち返り、未来を切り拓くということ、そして、塗料のプロフェッショナルとして「真のグローバル企業」に変貌する、という、この二つのことを成し遂げるとい思いを込め、「Good to Great」と名付けました。

当社創業者である岩井勝次郎氏が残した「利益追求と社会発展への貢献」という言葉があります。

これは今、企業が世界的に求められているESG経営そのものを示した言葉です。私たちが偉大な企業になるために必要なことは、創業の精神に立ち返り、塗料のプロフェッショナルとして、世の中の課題解決に挑戦的に取り組むことであると考えております。

第16次中期経営計画の最終年度となる本年を精緻に総括し、新たな第17次中期経営計画において、これらの精神に立脚するESG経営を積極的に展開し、社会に対して持続的に貢献する企業として前進してまいり所存です。

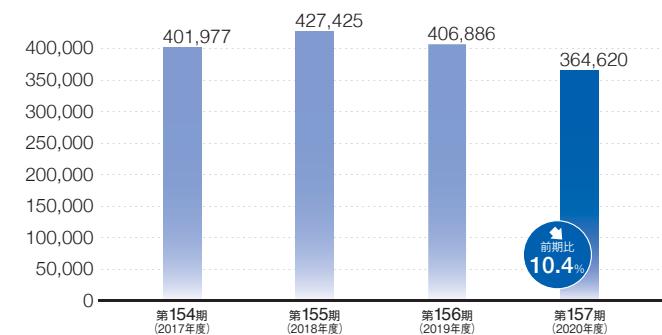
株主の皆様方におかれましては、今後ともなお一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

業績の推移(連結ベース)

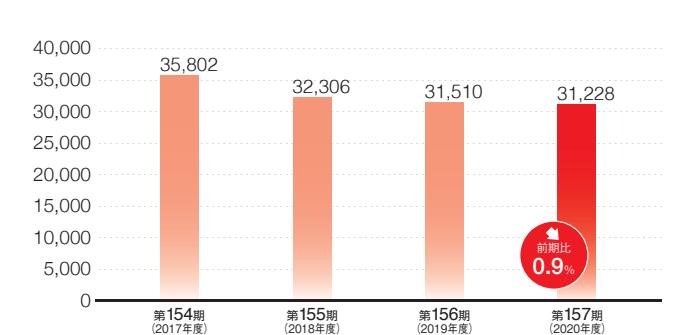
	第154期 (2017年度)	第155期 (2018年度)	第156期 (2019年度)	第157期 (2020年度)	第158期予想 (2021年度)
売上高(百万円)	401,977	427,425	406,886	364,620	400,000
営業利益(百万円)	35,802	32,306	31,510	31,228	38,000
経常利益(百万円)	33,241	34,838	34,874	35,880	44,000
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	17,701	17,405	18,477	20,027	26,000
配当単価(円/株)	27.0	30.0	30.0	30.0	30.0

※第158期予想の数値は、当社が現在入手している情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

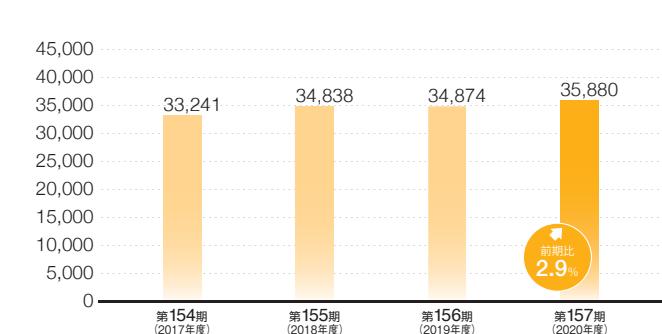
売上高



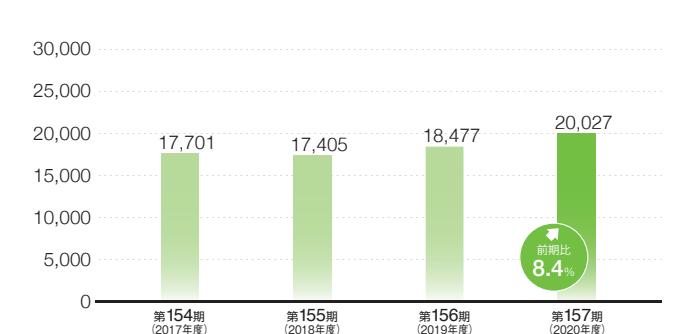
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



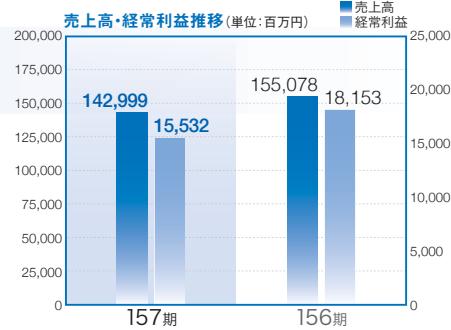
日本 Japan

39.2%
Japan

売上 **1,429億99百万円** (前期比7.8%減)

自動車分野は、新車用分野では自動車生産台数に回復の動きが見られるものの、前年を下回り、売上は減少しました。工業分野では、自動車部品向け塗料や建設機械向け塗料などが生産調整による影響を受け、売上は前年を下回りました。建築分野では、家庭用塗料の需要の高まりにより、売上は前年を上回りました。船舶分野では、修繕船の工事延期等の影響により、売上は前年を下回りました。自動車分野(補修用)及び防食分野では、国内市況が低調に推移し、売上は前年を下回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は1,429億99百万円(前期比7.8%減)、経常利益は155億32百万円(前期比14.4%減)となりました。



アジア Asia

13.6%
Asia

売上 **495億4百万円** (前期比17.7%減)

中国においては、年初からの新型コロナウイルス感染症の感染拡大による経済活動の停滞から早く回復し、売上は前年に比べわずかな減少にとどまりました。インドネシア、タイ及びマレーシアにおいては、新型コロナウイルス感染症拡大により自動車生産台数が減少し、年後半に持ち直しの動きが見られたものの、売上は前年を下回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は495億4百万円(前期比17.7%減)、経常利益46億38百万円(前期比15.0%減)となりました。



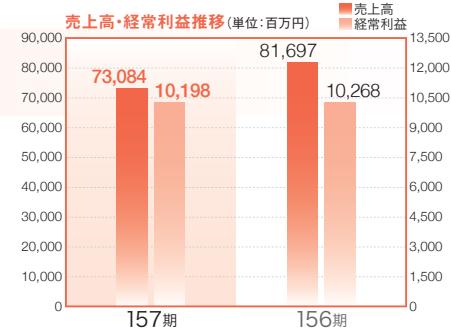
インド India

20.0%
India

売上 **730億84百万円** (前期比10.5%減)

自動車分野では、年後半に持ち直しの動きが見られたものの、4月から6月における自動車生産台数の大幅減少により売上は前年を下回りました。建築分野では、年後半には地方を中心に回復の動きが見られましたが、年初における新型コロナウイルス感染症拡大を抑止するためのロックダウンの影響を受け売上は前年を下回り、当セグメント全体の売上は前年を下回りました。そのような状況下、原材料価格が下落したことに加え、経費削減の取り組みにより、利益はわずかな減少にとどまりました。

これらの結果、当セグメントの売上高は730億84百万円(前期比10.5%減)、経常利益は101億98百万円(前期比0.7%減)となりました。



アフリカ Africa

7.7%
Africa

売上 **279億17百万円** (前期比21.9%減)

南アフリカ及び近隣諸国の経済が低迷するなか、新型コロナウイルス感染症拡大に伴うロックダウンの実施による経済停滞も加わり、南アフリカ地域の売上は前年を大きく下回りました。東アフリカ地域においては、建築分野において堅調な需要を取り込み売上は伸長しましたが、アフリカ全体の売上は前年を下回りました。原材料価格が下落したことに加え、原価低減の取り組み、不採算事業の整理及び固定費の削減を進め、売上が大きく減少する中、損失の拡大を抑えました。

これらの結果、当セグメントの売上高は279億17百万円(前期比21.9%減)、経常損益はのれんの償却を含め経常損失8億58百万円(前期比 - %)となりました。



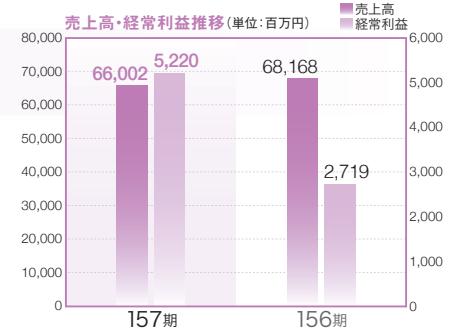
欧州 Europe

18.1%
Europe

売上 **660億2百万円** (前期比3.2%減)

トルコでは、工業用分野及び自動車分野の現地通貨ベースでの売上は伸長し、原材料価格が下落したことにより利益も増加しましたが、円貨ベースでの業績は為替換算による押し下げの影響を受けました。一方、建築分野では、堅調な需要に加え、当該分野を主力とする持分法適用会社において、設備投資優遇措置によって租税負担が減少したことなどにより持分法投資利益は増加しました。その他欧州各国においては、自動車分野(補修用)、建築分野及び防食分野では堅調な需要に支えられ売上は前年を上回りましたが、工業用分野の売上は前年を下回り、欧州全体の売上は前年を下回りました。そのような状況下、原材料価格が安定的に推移したほか、経費削減の取り組みや各国政府による政策の下支えもあり、利益は増加しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は660億2百万円(前期比3.2%減)、経常利益はのれんの償却を含め52億20百万円(前期比91.9%増)となりました。



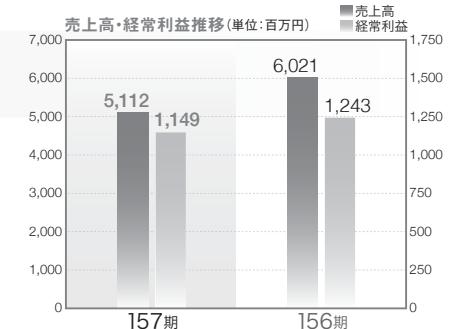
その他 Others

1.4%
Others

売上 **51億12百万円** (前期比15.1%減)

北米では、新型コロナウイルス感染症拡大による経済活動の停滞が続き、工業分野において売上は前年を下回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は51億12百万円(前期比15.1%減)、経常利益は11億49百万円(前期比7.6%減)となりました。



◆連結財務諸表

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

資産の部		負債の部	
当期(2021年3月31日現在)			
流動資産	300,471	流動負債	156,357
固定資産	306,108	固定負債	111,363
有形固定資産	127,220	負債合計	267,720
無形固定資産	51,335	純資産の部	
投資その他の資産	127,552	純資産合計	338,859
資産合計	606,580	負債・純資産合計	606,580

(備考)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

(2020年4月1日から2021年3月31日まで)	
売上高	364,620
営業利益	31,228
経常利益	35,880
税金等調整前当期純利益	40,826
当期純利益	23,566
親会社株主に帰属する当期純利益	20,027

(備考)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

(2020年4月1日から2021年3月31日まで)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	42,647
投資活動によるキャッシュ・フロー	△507
財務活動によるキャッシュ・フロー	16,828
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,185
現金及び現金同等物の増減額	57,782
現金及び現金同等物の期首残高	50,594
現金及び現金同等物の期末残高	108,377

(備考)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社概要

創立	1918年5月17日
資本金	25,658百万円
主要な事業内容	塗料及び塗料関連製品とこれらに関する機器装置類の製造、販売、設計及び塗装の監理等
従業員数	1,516名 (従業員数は就業人員であり、当社外への出向者を含んでおりません。)

主要な事業所

本店
兵庫県尼崎市神崎町33番1号
TEL(06)6499-4861

本社事務所
大阪府大阪市中央区今橋二丁目6番14号
TEL(06)6203-5531

事業所
鹿沼、東京、平塚、名古屋、尼崎、小野、北九州

開発センター 平塚

役員及び執行役員 (2021年6月29日現在)

取締役		取締役	
代表取締役社長	毛利 訓士	取締役(社外取締役)	吉川 恵治
代表取締役 専務執行役員	古川 秀範	取締役(社外取締役)	安藤 知子
取締役 専務執行役員	高原 茂季	取締役(社外取締役)	ジョンP. ダーキン
取締役 常務執行役員	寺岡 直人		
取締役 常務執行役員	西林 均		

執行役員		執行役員	
常務執行役員	田桐 澤根	執行役員	荒木 努
常務執行役員	富田 和昌	執行役員	高多 洋一
執行役員	寺本 秀行	執行役員	高田 秀雄
執行役員	徳 清秀	執行役員	殿村 浩規
執行役員	梶間 淳一	執行役員	富岡 崇

監査役		監査役	
常勤監査役	吉田 一博	監査役(社外監査役)	コリンP.A. ジョーンズ
常勤監査役	長谷部 秀士	監査役(社外監査役)	山本 徳男

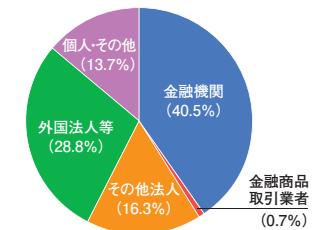
株式の状況

発行可能株式総数
793,496,000株

発行済株式の総数
272,623,270株

株主数
11,721名

所有者別株式分布状況

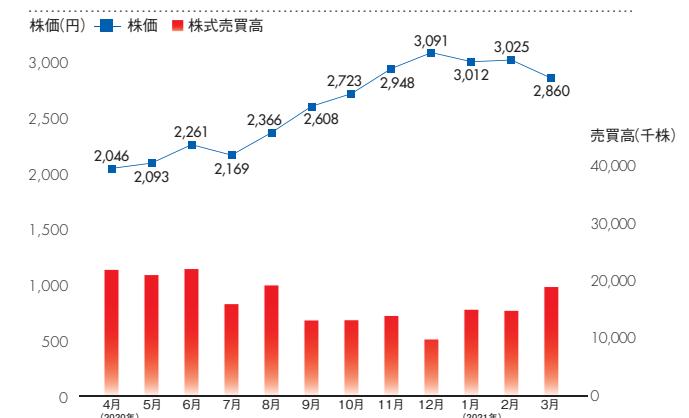


大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	24,200	9.37
日本生命保険相互会社	12,490	4.83
第一生命保険株式会社	12,485	4.83
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	10,395	4.02
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	9,981	3.86
トヨタ自動車株式会社	8,355	3.23
大同生命保険株式会社	7,607	2.94
三菱UFJ信託銀行株式会社	6,163	2.38
関西ペイント交友持株会	6,052	2.34
株式会社三菱UFJ銀行	5,221	2.02

(注)1.持株数は千株未満を切り捨てて記載しております。
2.持株比率は、自己株式(14,418,413株)を控除して算出しております。
3.当社は自己株式14,418,413株を保有していますが、上記大株主からは除いております。

株価(終値平均)及び株式売買高の推移



(注)株価及び株式売買高は、東京証券取引所におけるものです。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 3月31日 剰余金の配当 期末 3月31日 中間 9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 0120-094-777 (通話料無料) 平日9:00~17:00 (土・日・祝日等を除く)
公告方法	電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載URL (https://www.kansai.co.jp)
上場証券取引所	東京証券取引所 第一部

ご注意

- 株主様の住所変更、その他各種お手続きにつきましては、株主様の口座のある証券会社等にお問合せください。
なお、特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行にお問合せください。
- 未受領の配当金のお支払につきましては、株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行の全国本支店でお支払いいたします。

—— 期末配当金のお支払について ——

第157期期末配当金は2021年6月30日からお支払いいたしますので、同封の「期末配当金領収証」により、最寄のゆうちょ銀行または郵便局でお受け取りください。また、銀行口座へ振込ご指定の方には、「期末配当金計算書」及び「配当金振込先ご確認のご案内」を同封いたしましたので、お確かめください。

—— 単元未満株式の買取請求または買増請求について ——

単元未満株式(100株未満の株式)をご所有されている株主様は、これの買取請求(ご売却)または単元株式までの不足分の買増請求(ご購入)により、単元未満株式を整理することができます。詳細は、株主様の口座のある証券会社にお問合せください。なお、特別口座に記録された株式につきましては、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行にお問合せください。

—— 少額投資非課税口座(NISA口座)における配当等のお受け取りについて ——

新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関(証券会社等)を通じて配当等を受け取る方式である「株式数比例配分方式」をお選びいただく必要がございます。

ご所有の株式のうち、特別口座に記録された株式をお持ちの株主様は「株式数比例配分方式」をお選びいただくことができませんのでご注意ください。

NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

統合報告書を発行しております。当社の持続可能な価値創造に向けた方針と取り組みについてご覧いただけます。下記URLをご覧ください。
<https://www.kansai.co.jp/sustainability/>